

図書館協議会 令和6年度第3回定例会 会議録

【 日 時 】 令和6年12月13日(金) 午後3時00分～4時30分

【 場 所 】 中央図書館(3階)研修室1

出席委員 赤沼 順子、石田 陽子、サンジェイ・パリーク、鈴木 祐介、
藤田久実子、古河 志津子 宮島登喜子

欠席委員 岩田 教一、高原 栄治、横田 利定、中畠 由子、箭内 和子、和知 剛

【 事 務 局 】

中央図書館長(若穂 豊)、副館長(菊地 高之)
管理係長(井上 薫)、総合サービス係長(橋本 果)、
希望ヶ丘図書館長(伊藤 稔)、安積図書館長(笹島 功二)
富久山図書館長(佐久間 一徳)
管理係 今泉 総合サービス係 仲田・野内

【会議の概略】(司会:管理係 井上係長)

- 1 開会
- 2 館長・議長挨拶
- 3 議事・・・議事進行(松井議長)

≪開会に先立ち、12月1日逝去した吉井 明生委員に黙祷を捧げた≫

(1) 報告事項

令和6年度事業報告(10～12月)

事務局(副館長, 各地域館長)から資料(報告事項)に基づき説明ののち質疑応答。

(2) 協議事項

ア 郡山市図書館基本的運営方針(案)について

事務局(橋本係長)から説明ののち、質疑応答。

松井議長:MLAについて。歴史情報博物館との資料・ストックの住み分けについてどうなっているのか、またどのような事業を行うのか?

橋本係長:歴史情報博物館、図書館、公民館、美術館との間で会議を行い今後決定していく。

現時点では、

- ① 大人向けのおはなし会を歴史情報博物館で開催する。
- ② 各館の企画展の関連資料を相互に展示・情報発信していく。
- ③ 資料・展示物に関しては現在の各館で保管→今後どうなるかは未決定

松井議長:各館の得意分野が生かされると良い。

パリーク委員:博物館、美術館、図書館の展示物には実物を見ることにより、その展示物の上にストーリーが感じられる。博物館・美術館の展示物に対し、その関連図書・資料が図書館にあることを示すことが必要だ。お金をかけてデジタル化してでも、その資料が図書館のどこにあるかが一発でわかるようにできると良い。その資料の歴史背景、ストーリーを示す図書館資料も重要。展示物、図書館資料、デジタルアーカイブの3者をリンクさせ一体活用できるようにしたい。

館長:QRコードを読むと図書館の蔵書が検索できるように検討する。

古河委員:立体駐車場から図書館までが距離と勾配があり、健常者でも大変。障がい者や子供連れにとっては大きな障壁となり気軽に利用できない。バリアフリー化できないか？

館長:将来の建物の改修・長寿命化の際のフロア見直しの際に見直すように検討するが、すぐに改善することはできない。

- (3) その他 橋本係長より基本的運営方針の今後のスケジュールについて説明。年明けのパブコメ、3月の第4回定例会で完成。その間文書による委員への資料送付や意見聴取の可能性あり。

4 その他 井上係長から

ア ネーミングライツについて

アサカ理研に決定した。4月にオープン、式典を予定している。

イ サンディング調査について

5社から反応があり、1社は積極的、4社は条件次第とのことであった。

図書館の運営や、隣接の公園との一体運営を希望する社もあった。理想の施設の姿のビジョンが大切。

共通してPPP/PFIは20年スパンの長期的視野が必要であり、市に対してリスクに対する何らかの支援を求めている。

5 閉会

司会:以上を持ちまして第3回定例会を終了します。次回は3月頃を予定しています。

(午後4時10分終)